

## 人権講演会「人に優しい街づくり」

昨年、11月24日(日) 清水文化センターで開催いたしましたダニエル・カールさんの人権講演会「人に優しい街づくり」に参加されました林照雄さんの感想をご紹介します。

「人に優しい街づくり」ダニエル・カールさんの講演を聞いて

ダニエルさんが日本へ来たときは、まだ日本に住む外国人がごく少なかった36年くらい前のころ。それから日本で生活されて「日本の特性を強く感じられたこと、なかでも、日本人が使う言葉については、外国にはない驚きがいっぱいだ。」と話された。

その体験から、「優しい街づくり」の基本となる、言葉、会話を取り上げて上手な日本語で、理解できなかったこと、とまどったことを主に説明された。

たくみな話術で笑わせながら、日本人の言葉づかいについての話を聞

きつつ、あのことが頭にててきた。家庭でも地域でも、そしてよそから来た人に対して、心に添える温かい言葉を自分は使っていたか？

しみず言葉については、昔から「口が荒い」「言葉がきつい」と遠地の人たちに言われてきた。大昔、このへんではイカダ流しや柚(そま)仕事にたずさわる人々が多くなって、しみず言葉には今なおその名残がでている、とも聞いてきた。町外の方が怖気(おじけ)づくほどの不快感、近寄りがたい言葉だと言われたこともある。知らぬ間にこは、口言葉の警告レッテルを貼られていたんだなあ：

優しい街、家庭づくりは、まず言葉から。清水人でありしみず言葉の自分は、家庭に、地域の人に、まして町外の方々には言葉づかいを心得なければ、と反省。

現在ではこの地は、よその方々を思いやる気持ちが大変強くなっていて、どこにも負けません。ただ、自分ももっと努力をしなくてはいけない。家

族の指摘にもちやんととらえて心と口を、改めねば変わりません。

ダニエルさんは日本人同士の会話では「察し」の心理が働くので「アレですから」と言えば、「あ、アレねえ！」と、通じ合えるのはすごい。外国ではこれができません。日本人はすごい！と目を丸くして感心された。日本の察しの文化を、うれしく思います。

客席を笑わせながら、良い話をしてくれるダニエルさん。人とのふれあいを、本当に魂で叫んでくださったと思います。

有難うございました。

■アンケートに感想をいただきまして、一部を紹介いたします。

○ダニエルさんのお話はすごくおもしろかったですし、すごく私のためになりました。90分間笑いっぱなしでした。 10代 女性

○話がわかりやすく楽しかったです。日本語のいいところ、難しいところが本当にそうなんだなああと共感できました。相手に話をするとき、わかりやすく、丁寧に伝えることが大切なんだと改めて思いました。 40代 女性

○コミュニケーションの大切さがよく分かりました。日本人同士でも、あいまいな言葉で相手に伝わっていないことがあります。フィードバックで日本語なんですってねえ、そうだと思います。とっても楽しいお話でした。 50代 女性

○言葉の使い方、外国の人でも、しっかりコミュニケーションがとれるんだなと分かりました。ダニエルさんが、楽しくお話されてたいへん聞きやすかった。 50代男性

○「主語」「あれ」「婉曲」「謙遜」etc 日本語の特性が外国人とのコミュニケーションを図るとき、障害になっていくという事が、本当によく分かりました。でも 改めて日本語の良さも認識しました。 60代男性

### お知らせ

2月19日(水)、人権特設相談所を開設いたします。相談は無料で、秘密は厳守されます。

場所 二川住民センター  
時間 午後1時から4時まで

### 人権に関するお問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課  
TEL 52-2111  
FAX 32-4827